



## 体育部会・福祉部会を開催しました

### 【体育部】

5月22日（木）に開催しました。年間事業計画の中で開催日が未定のイベント日時を決めました。

ボウリング大会 7月12日（土） 2月28日（土） いずれも午後7時スタート  
第2回体育部会 8月 7日（木） 午後7時30分～



### 【福祉部】

5月26日（月）に開催しました。年間事業計画の各イベントの開催日を決定しました。

そうあんの里 夏のつどい 7月21日（月 祝日）午前10時～  
第2回 福祉部会 11月10日（月）午後7時30分～  
クリスマス会 12月21日（日）  
そうあんの里 落語会 3月15日（日）

以上のとおり決定しました。各イベントとも開催時には募集チラシを配布します。  
定員を設定しておりますので早めにお申し込みください。  
なお、文化部会は6月12日に開催します。イベントなどは来月号でお知らせします。



## どろんこ遊び・田植え を体験しました



5月23日午前 営農組合様のご厚意で、こども園の園児たちが、近くの営農組合管理田でどろんこ遊びを楽しみました。服も顔も泥んこで楽しそうに田んぼの中を走り回っていました。

同日午後からは、小学校前の田んぼで3・4・5年生16人が田植えを行いました。現在は機械化で手植えをする機会もなく貴重な体験をさせていただきました。3年生は、はじめての体験で苗は3本くらい持ち綱の赤い玉の印に植えること、横向きに移動して植えていくこと、植えた苗が浮き上がってきた場合は土を寄せて植え直したら良いなどと教わりました。約1時間くらいでしたが貴重な体験をしました。



## 身近で見られる植物④

テイカカズラ〈キョウチクトウ科〉(定家葛)  
常緑のつる性植物です。林内に普通に生えています。  
林縁の道縁で見られることもあります。今の時期、  
5裂した風車のような筒状の白い花を咲かせます。  
名前の由来は、百人一首で熱い恋の歌を詠んだ藤原  
定家の名前にちなんで付けられました。

詳しい内容は調べてみて下さいね。

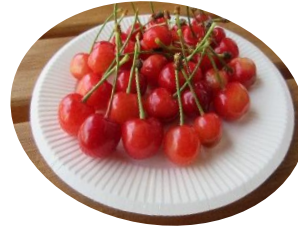
芳香がする  
ところから  
ツルクチナシ  
とも言われます。



## サクランボが初収穫できました

今年初めて(?)ふれあい倶楽部敷地内に  
ある桜と思っていた木にサクランボが実り鳥害  
にも合わず少量ですが収穫できました。

喫茶ひまわりのお客様にも試食していただき  
ました。品種はわかりませんが大粒で甘い  
サクランボでした。



- お知らせ  
6月22日(日) 体力測定会 宿南小学校体育館(詳細 チラシ配布済)  
6月29日(日) 農家日役(寄宮・町・川東・川西・門前区)  
7月12日(土) 第21回ボウリング大会(詳細 別紙チラシ配布) 午後7時スタート  
7月14日(月) 養父市青谿書院交流館竣工式



## 草庵先生紹介

日記 76



生野代官所を占拠した後、総帥澤宣嘉  
(一番奥でしようぎに座っている)に  
謁見(えっけん)する農民兵ら  
生野書院提供「生野義拳絵巻」  
を参考に 宮崎和夫さん作

「(前略)この日、生野府(代官所)で変があったことを聞く。事実はどうなっているのかいまだ分からない。夜が更けてから就寝」(文久3〈1863〉年10月12日)池田草庵の日記は、生野(現朝来市生野町)でいわゆる生野の変が起こり、そのことが伝わって来たことを書いている。青谿書院の塾生だった北垣晋太郎(国道)らも参加している可能性は高い。草庵は心配であったが、夜になっても詳しいことは分からなかった。生野は銀を産出する鉱山があり、幕府の財政を大きく支えていた。そこには、代官所が設けられ、生野銀山や但馬内の多くの村々を幕府が直轄していた。代官所を襲撃することは、江戸幕府への襲撃であり討幕の第一歩であった。生野の変はおよそ次のような経過をたどった。

文久3年10月12日の未明午前2時ごろ、平野国臣や長州藩士、浪士らが討幕尊皇攘夷(じょうい)を掲げて生野代官所を襲撃した。総帥は公家の澤宣嘉であった。この時は、代官所はほとんど抵抗することなく、比較的簡単に占拠することができた。これには長州藩士や尊皇攘夷を唱える浪士たちが多数参加していた。そして、北垣らが組織化を進めていた農民兵らも参加していた。この襲撃は、簡単に成功したように見えた。しかし、指導者間の意見が分かれた上、翌日以降には近くの姫路、出石、豊岡などの藩からこれを鎮定するために多数の出兵があった。襲撃派の陣中に動揺が生じ、13日の夜には、総帥の澤宣嘉が脱出した。これをきっかけに、多くの浪士が逃走した。戦いを主張していた長州藩士や浪士十数人は妙見山(現朝来市山口)に立てこもって戦おうとしたが、集まっていた農民兵たちから偽浪士として非難や攻撃を受け、全員自刃した。こうして、生野の変はたちまちにして鎮定された。

現在、かつて生野代官所のあった近くに資料館「生野書院」が立っている。その中に「生野義拳(変)の概要」が展示されているが、その説明の最後はつぎのようにまとめられている。「生野義拳はこのようにして短期間にあっけなく終わったが、この拳兵が魁(さきがけ)となり4年後には明治維新が実現し、新しい日本の夜明けとなる」

池田草庵先生に学ぶ会